

新年明けましておめでとうござい
ます。

町民の皆さまには、輝かしい新春
をご家族お揃いで穏やかに迎えの
こととお慶び申し上げます。また、
旧年中は、町政全般にわたり格別
のご理解、ご協力を賜り、心から厚く
お礼申し上げます。

私は、昨年8月の町長選挙におき
まして、町民の皆さまをはじめ、各
方面からのご支援を賜り、町長に就
任させていただきました。以来、3
か月余りが経過し、職責の重さを
日々実感しているところですが、私
に与えられた使命は「ふるさとサロ
マをより良いまちにする」ことであ
り、「子どもたちには夢と希望を、
働き盛り世代の方には佐呂間町で働
く誇りを、高齢者の方にはいつまで
も住み慣れた家で暮らせる安心を」
の実現に向け、全身全霊で取り組む
所存であります。

昨年を顧みますと、中国武漢市で
発生した新型コロナウイルスが猛威
を振るい、世界規模での感染拡大に
より、東京オリンピック・パラリン
ピックが延期され、世界経済にお
いては、GDP成長率がリーマン
ショック時を遥かに超えるマイナス
成長となるとともに、インバウンド
の減少や外出行動制限により国内経
済へも大きな打撃を与え、さらには、
イベント自粛や学校臨時休業など、

国民生活へかつてない大きな影響を
及ぼしています。

国内では、菅義偉官房長官が第99
代内閣総理大臣に就任しましたが、
新政権においては、新型コロナウイルス
への対応や経済の回復、国民の
政治に対する疑惑や疑念への説明責
任などの諸問題を解決し、国民の目
線に立ち、一日も早い安定した政治
を望むものであります。

道内では、いわゆる「核のごみ」の
最終処分場選定に当たり、2つの町
村において文献調査が開始されまし
たが、全道的な風評被害が懸念され
るとともに、周辺町村では核抜き条
例制定への動きなど、各方面へ影響
を及ぼしており、慎重な対応を望む
ものであります。

さて、昨年の本町を振り返ります
と、農業においては、畑作では春先
から6月頃にかけて、一部地域で大
雨による土砂や種の流出、雹被害を
受けたものの後半は天候に恵まれ、
作物全般は平年を上回る出来秋とな
り、酪農・畜産では、平均乳価はコ
ロナ禍の影響により昨年を下回りま
したが、生乳生産では目標を上回り
ました。肉豚は、コロナ禍の巣ごも
り需要により前年を上回り、農業販
売額全体では、当初計画を若干上回
る結果となりました。

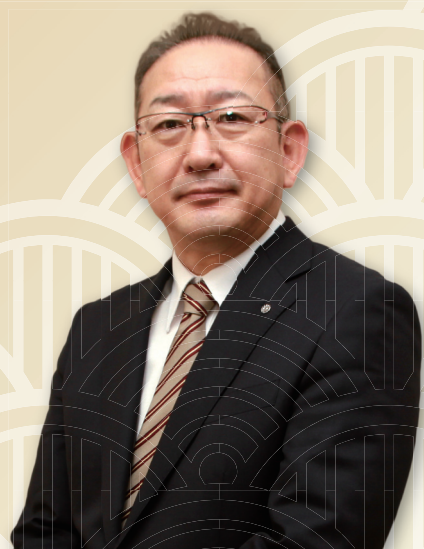
漁業においては、外海・養殖ホタ
テとも計画どおりの生産数量となり

ましたが、コロナ禍の影響により消
費が落ち込み、販売価格は大幅に下
回りました。さけ定置網では、漁獲
量は若干の増となり、単価の上昇に
より漁獲高も前年を上回りました。
北海シマエビ漁は、資源保護のため
引き続き禁漁となり、早期の資源回
復を期待するところであります。こ
のような状況から、佐呂間漁業協同
組合の総水揚げ額は、前年を下回る
結果となりました。

林業においては、造林・下刈事業
など、国の補助制度を活用しながら、
継続的な森林資源の保全に努めまし
た。

商工業においては、コロナ禍にお
ける経済対策として、商品券プレミ
アム分の割増しや食事券の発行を行
うとともに、宿泊・飲食事業者への
支援として、経営維持支援や宿泊業
活性化事業を実施し、町内消費の拡
大および事業の回復に努めたところ
であります。

新年度からは、第5期佐呂間町総
合計画「自然の恵みに感謝し、人が人
を支え、共に創(つく)る、生涯の郷
(さと)、サロマ」がスタートします。
「安全安心で豊かなまちをめざして
(まちづくり)」「自然とともに持続可
能な循環型の産業をめざして(産業
振興)」「絆を深め地域ぐるみで支え
あう福祉のまちをめざして(社会福
祉)」「心を豊かにする学びをめざし



佐呂間町長

武田 温友

て(教育文化)」の4つの施策の大綱
を掲げ、地方自治の本旨である町民
福祉の向上と本町の更なる発展に向
けた「新しい佐呂間町の創造」に、私
ども町職員一丸となって全力で取り
組んでまいりる所存であります。

結びに、本年が町民の皆さまに
とって実りある最良の年となり、
益々ご健勝でご活躍されますことを
心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶
といたします。

新年明けましておめでとうござい
ます。

町民の皆さまにおかれましては、
ご健勝にて輝かしい令和3年の新春
を迎えられ心よりお慶び申し上げま
す。

さて、昨年を振り返りますと、中
国の武漢から端を発した新型コロナ
ウイルス感染症による世界的なパン
デミックの脅威に悩まされた一年で
ありました。

このコロナ禍の影響で、日本にお
いては、2月に集団感染が発生した
海外の大型クルーズ船が横浜港に停
泊、さらに国内でも感染が広がり、
3月には政府が小・中・高校の休校
やイベントの中止などの自粛要請、
本町においても各学校が休校を余儀
なくされました。

さらに東京オリンピックの延期が
決定し、春・夏の高校野球も中止と
なりましたが、その後も感染は広が
り、4月には政府が初の緊急事態宣
言を行い、感染対策と生活支援とし
て全国民にマスクの配布と10万円の
特別定額給付金の支給が行われまし
た。

また、様々な活動自粛により落ち
込んだ経済対策としてGOTOトラ
ベル、イートなどの対策が開始され
ました。これらの経済対策は、その
後の各地の感染拡大にも影響し、そ
んな社会不安の中、9月には管内閣

が発足しましたが、コロナの拡大抑
制と経済の活性化を両立することに
苦慮しているようです。

まだまだコロナの終息は見通せな
い現状にありますが、世界において
はワクチンの開発が急ピッチで進め
られ、昨年末には欧州でワクチンの
接種が開始され、今年は日本へもワ
クチンが供給となり、少しずつでは
ありますが、明るい兆しもみられる
中、今年こそは東京オリンピックが
無事開催されることを期待するこ
ろであります。

さて、本町をかえりみますと、基
幹産業の農業は、天候もよく農作物
の販売額は当初計画の1.4%増の実績
となり、また酪農畜産は、計画から
微減、農業全体では計画の1.6%の増
となりました。漁業については、外
海ホタテ、養殖ホタテは、コロナの
影響で大幅な価格低下、さけ漁につ
いては、価格、漁獲高とも計画より
上がりましたが、佐呂間漁協総水揚
げ額は前年比90%程度となりました。

地域経済、雇用環境は依然として
厳しい状況になっておりますが、商
工業活性化事業や例年よりプレミア
ム率を増した商品券発行などの各種
施策により、コロナ禍の中、町内消
費活動の活性化が図られておりま
す。

地方創生が叫ばれている昨今、地

方を取り巻く環境は大きく変化して
おり、基幹産業の活性化対策、人口
減少対策、少子高齢化社会に対応す
る医療・福祉政策等の充実が求めら
れています。

このような状況の中にあって、議
会としても地域住民がみずからの判
断と責任において、地域の諸課題に
取り組んでいけるように、的確かつ
適正な議会活動に全力を傾注し、そ
の任を果たしてまいりたいと存しま
す。

今年も、町民の皆さまがご健勝で
幸多い年になりますことをご祈念申
しあげ、新春のご挨拶いたします。

佐呂間町議会議長

吉野 正 剛



新年のごあいさつ